

JFCS

Biomechanical Custom Made Insole

The Best Insoles for Your...

Feet, Walking, Performance, Health, and Life.



Japan Foot Care Service.inc

Japan Foot Care Service.inc

Biomechanical Custom Made Insole

米国足病学 × 足専門の義肢装具士

足の医学・インソールの超先進国である米国においてオーダーメイドインソールは「足のニュートラルポジション」の保持を基本とする、バイオメカニカルデバイスです。

米国足病学では、ニュートラルポジションにおいて「足のパフォーマンスが最も発揮され、怪我・故障のリスクが少なく、様々な足病（※1）の治療・予防に効果的」とされ、インソールが医療現場から予防医学、プロスポーツシーン、ワークシーン、デイリーユースまで、老若男女を問わず幅広く装着されています。

足を専門とする日本の義肢装具士・装具製作技術者が、米国足病学の知識・技術を用いて、1人ひとりに合わせてオーダーメイドで製作します（※2）。

※1 外反母趾、内反小趾、扁平足、強剛母趾、足底筋膜炎、巻き爪、胼胝（タコ）、鶏眼（ウオノメ）など、足の疾患の総称

※2 米国の足病医、足装具士、臨床コンサルタントを顧問とし、知識・技術をアップデートしています

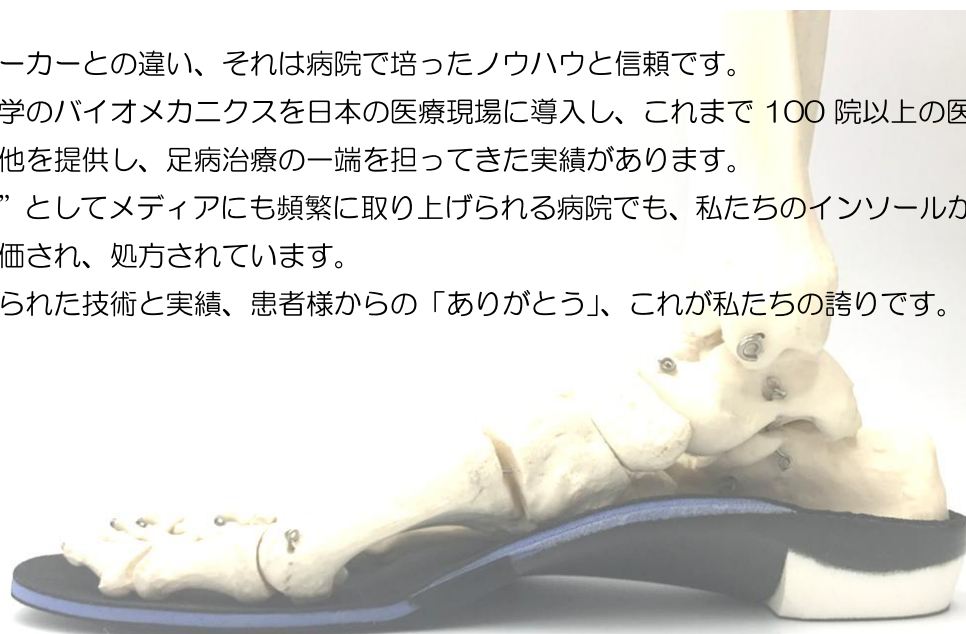
メディカル × オーダーメイドインソール

市販インソールメーカーとの違い、それは病院で培ったノウハウと信頼です。

私たちは米国足病学のバイオメカニクスを日本の医療現場に導入し、これまで100院以上の医療現場で患者様にインソールその他を提供し、足病治療の一端を担ってきた実績があります。

“足の駆け込み寺”としてメディアにも頻繁に取り上げられる病院でも、私たちのインソールが治療用装具（足底装具）として評価され、処方されています。

医療の現場で認められた技術と実績、患者様からの「ありがとう」、これが私たちの誇りです。



治療用装具（足底装具）



外反母趾・強剛母趾・足底筋膜炎など整形疾患から、先天／後天性による変形、糖尿病足病変まで、それぞれの足病に対しノウハウと実績を持っており、治療に貢献できるオーダーメイドインソールを製作します。

米国足病学の知識・技術を持つ足専門の義肢装具士が、足の評価・採型・適合・フォローを担当します（※3）。

※3 治療用装具は医師の指示の下で製作されます



スポーツユース

アライアンス事業部



ほとんどのメジャースポーツに対し、パフォーマンスアップのためのノウハウを持っています。

国内外のオリンピックやプロ・アマ選手など、多くのトップアスリートが私たちのインソールを愛用しています。

また、健康増進の為にジョギング／ウォーキング時に足や膝への負担を軽減するインソールも製作可能です。



他スポーツもご相談ください

デイリーユース

アライアンス事業部



ビジネスシューズからパンプス、普段使いのスニーカーまで、シーンやファッションに合わせて、様々な靴に対応するインソールを製作可能です。例えば、仕事上パンプスやハイヒールを履かなくてはならない場合でも、足の負担や痛みを軽減させる、歩行が楽になるオーダーメイドインソールがあります。

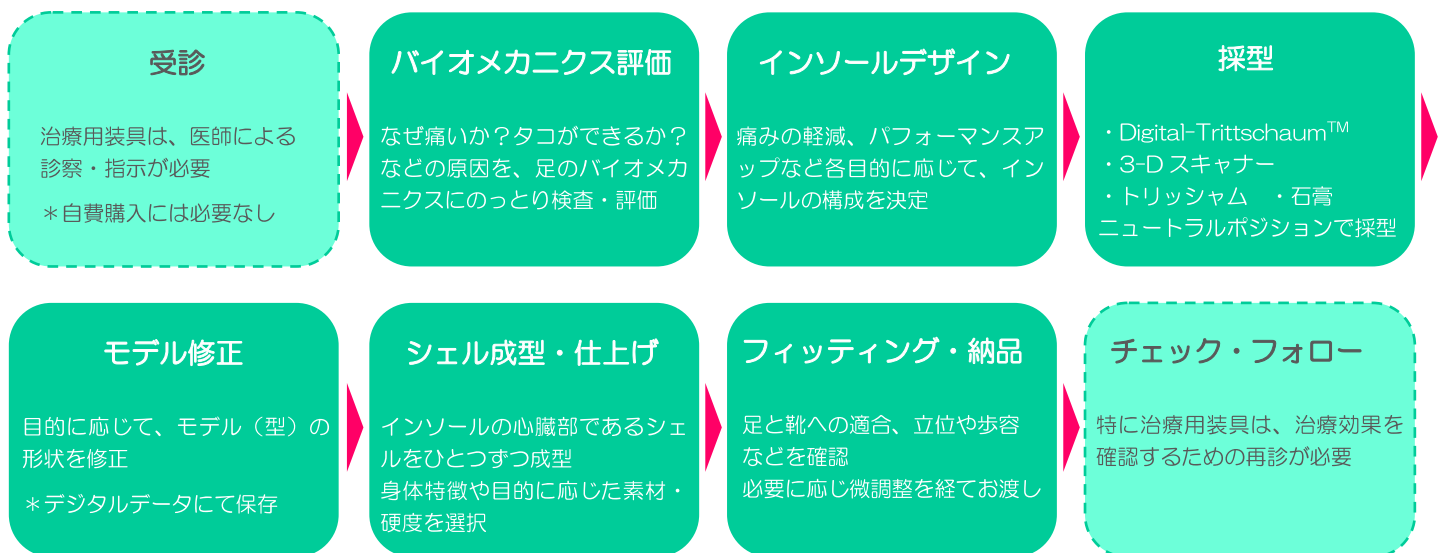


先進技術の導入

これまで石膏や可塑性フォーム（トリッシュャム）などの印象材を用いた採型が一般的で、ランニングコストや難しさ、バラつきなどが課題でした。そこで私たちは足裏の3次元形状を、正確・スピーディ・簡単に読み取るためのニュートラルポジション保持する3-D スキャナー用の採型台“Tretta45W”や、足を軽く乗せるだけで瞬時にスキャンできる“Digital-Trittschaum®（デジタル トリッシュャム）”を独自開発しました。これらにより、誰でも簡単に採型することが可能になり、オーダーメイドインソールのハードルがぐっと低くなりました。また、形状修正したモデル（型）を3-D スキャナーで取り込むことで、データで保管しています。NC 加工機でいつでも復元することができ、「同じものが欲しい」というニーズにも正確に対応可能となりました。

「日本の足をもっとよくしたい」このコンセプトのもと、私たちはこれからも進化を止めません。

採型から納品まで



User's Voice

- ・ 歩くと親指の付け根が痛く、つい出不精に。今では痛みがなくなりウォーキングが趣味に！（50代・主婦）
- ・ ゴルフのスウィング、パッティングが安定し、スコアが伸びた。自分でも驚きの効果。（20代・プロゴルファー）
- ・ 1日の疲労度が全然ちがう。より重い荷物を持てるようになり、最近では腰痛にもならない。（30代・配送業）